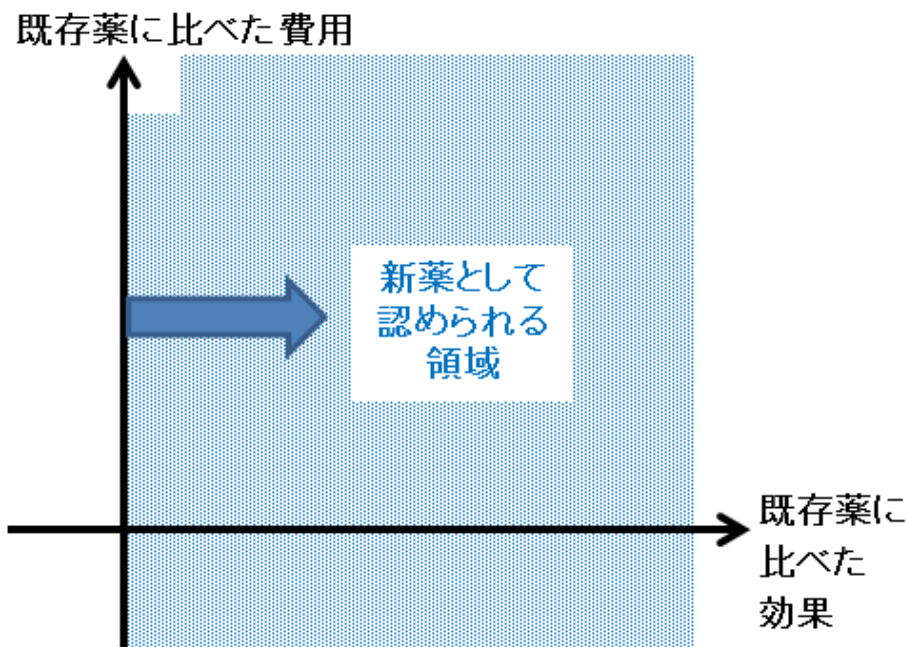


(図1)新薬採択における考え方の変化:国による違い

これまでの評価:科学的視点

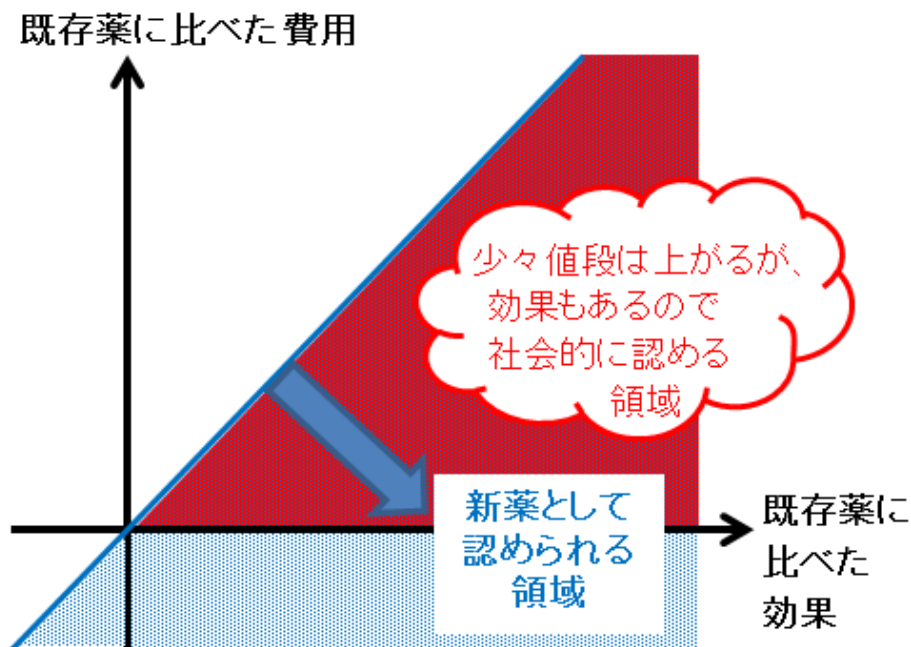
(日本、米国、フランス等はまだこの考え方が強い)



既存薬に対して有効であれば、新薬として採択

最近の評価:費用対効果の視点

(英国、ドイツが特に先行)



既存薬との効果の増分と費用のバランスで判断
安くて効く薬の場合は、もちろん新薬として採択する
高くて効く薬の場合は、ある傾きの直線より下なら採択

出所:筆者作成